

## 第 15 回 宮崎地方会活動報告

テーマ：コロナ禍で進んだ働き方改革

～医師事務に求められるスキルと役割～

日時：2021年5月29日（土）13：30～16：10（実質 16：20）

### 開会あいさつ

社会医療法人同心会 古賀総合病院理事長 古賀倫太郎先生

医師事務作業補助者は単純に事務の負担軽減だけではなく、  
外来診療支援では、医師が患者との会話に集中ができる様に環境  
を作っていたら、外来の質の向上に貢献してくれる役割を担って  
くれて大変助かっていますと、明日からの仕事に向かう活力がお腹  
の底から湧いてくるようなエールをいただきました。



### 講演 「医師事務に期待される在り方」

慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授 佐久大学客員教授 唐澤 剛先生

日本の医療制度から地域包括まで多岐にわたる話題を非常にわかりやすくご講演いただきました。現代における少子高齢化に伴う問題や日本と海外の医療制度の違いの中で、今後  
も急速に進む高齢化、コロナ禍でますます、在宅療養者が多くなる未来は、病院間のつな  
がり、ネットワークが重要になってきます。「地域包括ケア」の本来での意味を改めて理解  
することができ、今後の多様な人、モノによる「ごちゃまぜ」の地域共生社会についても  
これから先のことを考えさせられるご講演でした。唐澤先生の和やかな雰囲気がとても大  
好きですとコメントを残された参加者の方がいらっしゃいました。今回も多くの方が和や  
かな雰囲気に包まれた事と思います。

### 実践報告

古賀総合病院 山田 智美先生

南部病院 小田 みゆき先生

宮崎県立宮崎病院 濱畑 美佳先生



テーマに沿った内容で各病院での実践報告を発表いただきました。

コロナ禍で増えた業務、工夫など今後の診療支援のヒントにさせていただけたと思います。

## グループワーク

ブレイクアウト機能を使って6~7人のグループを7グループつくり、宮崎県支部の世話人がファシリテーターとしてグループ内の進行役を務めました。

前半ではコロナ禍での1年、働き方はどう変わっていったか、現状で困っている事等を出し合い、後半では大きなピンチをチャンスに変える妄想レベルでの解決策をディスカッション。各グループのまとめを1分間程度で発表していただきました。

患者数の減少による手術件数・診断書代行数の減少、患者トリアージ等、逆に増えた業務、少なからずとも私たちの周りでは変化があったようです。その中で業務の短縮化・効率化をどうやって図っていくのが課題なのではないでしょうか。今回の地方会のようにオンライン仕様の研修会等が増えたことによるスキルアップは図れたのではないかと思います。

## 総括

歴史を作る当事者意識をもち、こんなこといいな・できたらいいな♪が発展し仕事に繋がれば今の置かれた私たちの状況が未来は少し変わったものになるのではないのでしょうか？初回のZoom研修でした。アンケート調査を実施し、今後のスムーズは運用を今後の課題とし取り組んでまいります。